

□講義科目(専門科目)

科目名	ソーシャルワーク論	2単位
担当者	田中 千枝子	
テーマ	ソーシャルワーク実践を理論や方法論として理解する	
科目のねらい	<p><キーワード> ①ソーシャルワーク ②実践理論 ③社会福祉方法論 ④マイクロ・メゾ・マクロ実践 ⑤ 専門性</p> <p><内容の要約> ソーシャルワーク実践の基盤となる考え方や方法を示すソーシャルワーク実践理論やアプローチの基本的知識を得ることによって、とくにマイクロからメゾレベルの領域の専門性の確認を行う。また実践事例を分析し、グループワーク体験をすることで、ソーシャルワークの価値にもとづく知識・技術を検証し、さらにそれらを専門家のコンピテンスとして身につけるための学習・学修を行う。 方法としては、実際の事例に対して様々な教育手法による実践理論・アプローチを適用し、参加型授業によって、一定の視点からの事例の事実を観察し、理解し、分析・解釈し、評価するといった段階を経て、ソーシャルワークの一連の流れを体験する。</p> <p><学習目標> 人の人生/生活に着目し、社会的枠組みにおいて福祉的課題を設定し、その科学的視点による方法論としてのソーシャルワークの実践方法を理解することができる。 ソーシャルワーク理論や展開過程を問題解決に応用する能力として身につけ、多職種に対するコミュニケーションやプレゼンテーションに役立てることができる。</p>	
授業の進め方	<p>第 1 回 オリエンテーション 第 2 回 SWの実践理論概論、事例検討 第 3 回 援助観価値観の理論的変遷、討論 第 4 回 統合理論の流れ概観、事例検討 第 5 回 バイオ・サイコ・ソーシャルモデル、ロールプレイ 第 6 回 役割理論、ロールプレイ、事例検討 第 7 回 ピンカスミナハンの4つのシステム論、エコマップ作成 第 8 回 GWに関する基礎理論概観、ロールプレイ 第 9 回 グループ力動論、事例検討、ロールプレイ 第 10回 システム理論、参与観察法によるフィールドノーツの作成 第 11回 チームアプローチ、場の理論、カンファレンス、KJ法 第 12回 エンパワメントエバリュエーション法、ワークショップ、報告会 第 13回 ソーシャルワークリサーチ、社会調査、介入計画作成 第 14回 実践理論と実際の総括、ディスカッション 第 15回 まとめ(レポート作成、報告会)</p>	
事前学習の内容 学習上の注意	<p>○指定したテキストや資料や課題を事前に読んで考えておくこと。 ○ディスカッションやロールプレイなど演習形式を多様するので、積極的に参加すること。 ○毎回授業の最初に前回授業内容に係る振り返りを実施するので、復習しておくこと。 ○毎回の授業終了時に、次回の資料や論文を配布するので読んでおくこと。 ○社会福祉学での基礎的な理論に関する知識を前提として講義する。</p>	
本科目の 関連科目	医療・福祉マネジメント研究科「専門演習Ⅰ・Ⅱ」の考え方や論文作成の枠組み作成に寄与することができる	
テキスト	なし その都度提示	
参考文献	「保健医療ソーシャルワーク論」勁草書房 田中千枝子 「ソーシャルワークとは何か」川島書店 Zブトゥリム その他 授業中に提示	
成績評価 方法と基準	授業2限に1回ごとの小レポートの提出(20%)、ディスカッション・ロールプレイへの参加度(20%)、中レポート3回提出(60%)の方法で評価をおこない、全体で60%以上を合格とする	